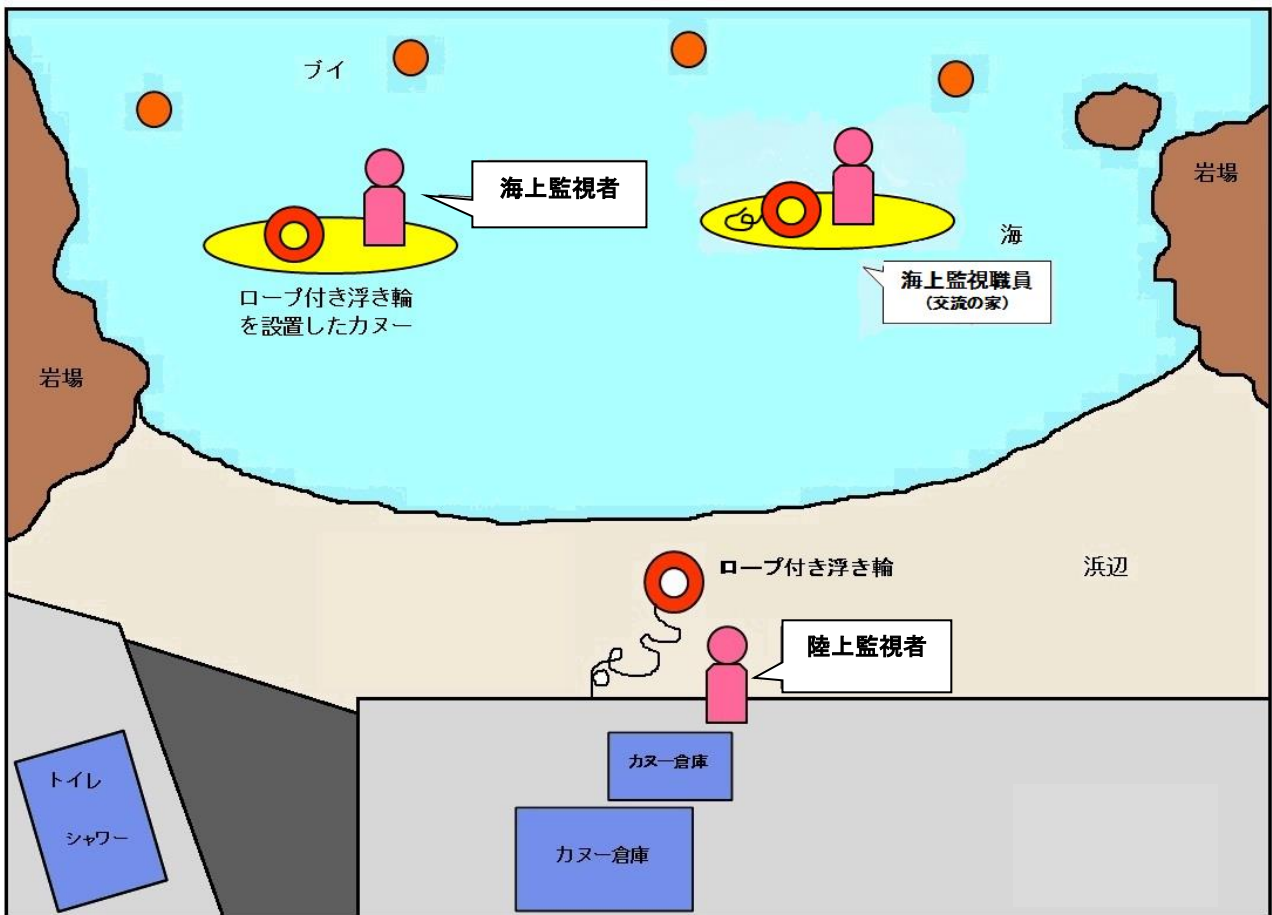


「カヌー」研修



引率者の監視体制

- 統括責任者（全体の統括・指導）… 1名
- 陸上監視者（陸上からの監視・安全管理）… 1名
- 海上監視者（カヌーからの監視・安全管理）… 1名
- 指導担当者（用具の準備・片付けの指示, 指導及び安全管理）… 1名
- 救護担当者（健康観察・応急処置）… 1名



「カヌー」研修



国立江田島青少年交流の家

「カヌー」研修

◆ 概 要

瀬戸内海の広島湾に開けた自然豊かな水泳場（幅約100m、沖に約50m）で、シットオンタイプのカヌーを使い、2～3人のパディで安全を確認しながら水上を自由に移動することを楽しむ。

◆ ねらい

○基本的なカヌーの漕艇技術を身につけさせるとともに、安全に留意して活動する態度を養う。
○カヌー研修を通して、海に親しむ態度や心情を育み、自然の中で活動することの楽しさを味わわせる。

◆ 指導者、人数など

対象	小学4年生以上 (保護者や引率者と組む場合は3年生以下も可能)
指導	交流の家の職員が行う
人数	10人～90人 ※90人の場合、3人パディ×30艇
1パディ	2～3人
実施時間	2時間30分
実施場所	水泳場
実施時期	7月1日～8月31日

◆ 準備物

個人	交流の家(事務室)	交流の家(カヌー倉庫)
水着、濡れてもよい服	ハンドマイク 1	カヌー(パディ数分)
濡れてもよい靴	救急箱 1	パドル(パディ数分)
Tシャツ等の着替え	心肺蘇生法マニュアル 1	救命胴衣(人数分)
帽子	ホイッスル 3	救助用カヌー 2
飲み物	水温計 1	海上監視員用救命胴衣 2
タオル	風速計 1	ロープ付き浮き輪 2



カヌー
(シットオンタイプ)

■ 連 絡 先

一般電話番号

緊急通報用電話番号

江田島消防署(救急係)	Tel (0823) 40-0358	119
江田島警察署	Tel (0823) 42-0110	110
第六管区海上保安本部	Tel (082) 251-5111	118
国立江田島青少年交流の家	Tel (0823) 42-0660 (0823) 42-0661	

「カヌー」研修

◆ 展開

	団体指導者・研修生の動き	職員の動き
集合・出発	<ol style="list-style-type: none"> ①つどいの広場（ピロティ）に班毎に整列する。 ②健康観察を行う。 ③目的を説明する。 ④班毎に2列縦隊で水泳場に移動する。（水泳場まで約1 km） ※参加者の更衣場所は、宿泊棟を原則とする。使用できない場合は指定した場所で更衣する。 	なし
水泳場到着後	<ol style="list-style-type: none"> ①利用団体は、職員の指示により、カヌー倉庫から必要な道具を出す。 ②海上監視員・陸上監視員は、安全対策の準備をする。 ③②関係者以外の者は、浜辺の清掃をする。（5分くらい） ④パディ（2～3人）を組む。 ⑤健康観察を行う。 ⑥人数、名前を確認する。 	人数等を確認する。
職員による指導	<ol style="list-style-type: none"> ①注意事項を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・カヌーは20分以上続けない。 ・休憩は必ず10分以上とる。 ・カヌーは特に危険を伴い、事故は死につながる。 ・パディを組み、ともに行動する。 ・必ず救命胴衣を着用する。 ・はだして活動をしない。 ・担当者の指示に従い、悪ふざけや勝手な行動は絶対しない。 ・体調が悪くなったら早めに活動をやめ、救護担当者に連絡をする。 ・体調不良者はカヌーに乗らない。 ・事故を目撃したり、ケイレン等が起きたりしたら直ちに大声で叫ぶ。 ・境界ブイ（岬と岬を結ぶ線）より沖側に出たり、岩場には近づいたりしない。 ・休憩時間は海に入らない。 ・パディや見学者はカヌーを行っている者をよく監視し、勝手な行動をしない。 ②準備運動をする。 ③救命胴衣の着用する。 ④カヌーの操船方法及び落水時の救助法について知る。 ⑤パディを確認する。 ⑥交代及び休憩時のカヌーの扱いについての説明を聞く。 	カヌー指導
団体による指導	カヌー操船	安全確認
実施後	<ol style="list-style-type: none"> ①パディで、人数と名前を確認する。 ②健康観察を行う。 ③職員に人数等を報告する。 ④整理運動を行う。 ⑤カヌー、救命胴衣、ロープ付浮き輪を洗浄し、カヌー倉庫に片付ける。 ⑥トイレの掃除をする。 ⑦カヌー倉庫内をほうきで清掃し、清掃道具を片付ける。 ⑧シャワーを浴びる。 ⑨持参したゴミ等は必ず持ち帰る。 	人数などを交流の家に連絡する。
交流の家へ出発・到着	<ol style="list-style-type: none"> ①列縦隊で青少年交流の家へ向かう。 ②到着後、人数確認を行う。 ③更衣等の諸連絡をする。 ※更衣の際は、足をよくふいて宿泊棟に入るよう指導する。 ④事務室にカヌー研修が終わったことの報告をする。 	